富山県内の中小企業動向調査

ファーストTrend

2026年7月号

CONTENTS

1.中小企業動向調査［2026年4~6月実績/2026年7~9月見込/2026年10~12月予測］

富山第一銀行

中小企業動向調査（2026年6月末日基準）

この調査は、富山県内企業394社からのアンケート結果をまとめたものです。
企業の調査資料として、2026年4月～6月の実績、2026年7月～9月の見込、2026年10月～12月の先行き見通しを集約した概要です。なお､季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
394（639）
うち、製造業73社、非製造業321社

調査時期：2026年7月
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

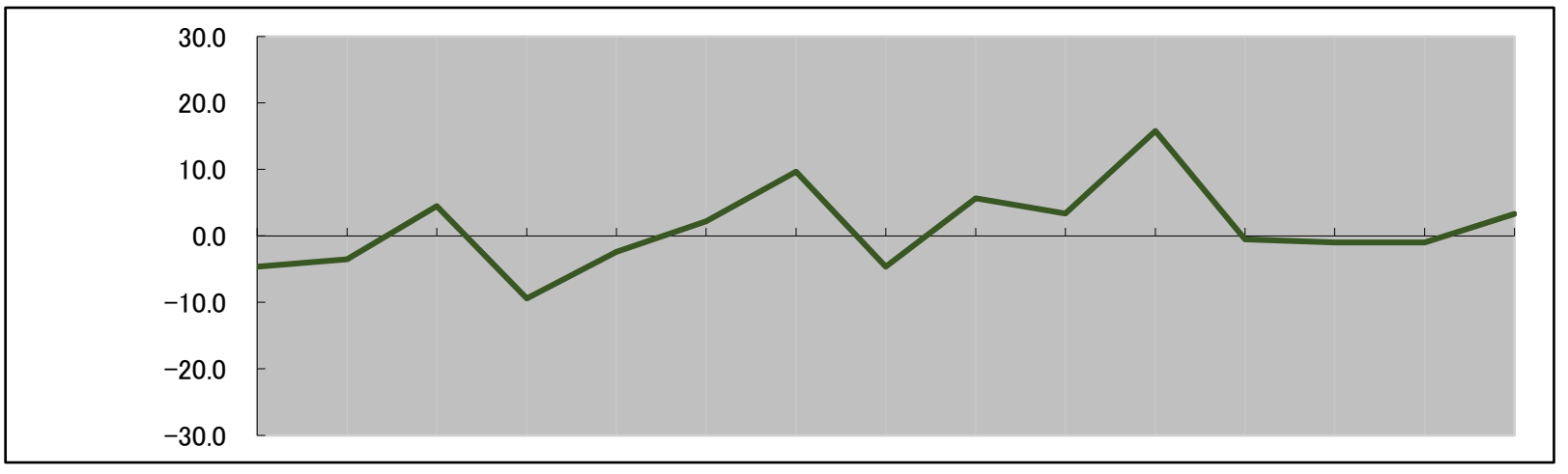
日本銀行富山事務所が2026年7月に公表した「富山県金融経済クォータリー2026年夏」によると、「富山県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。最終需要をみると、個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、下げ止まりつつある。公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。生産は、持ち直しつつある。業種別にみると、医薬品を中心とする化学は、緩やかに増加している。電気機械は、緩やかに持ち直している。汎用・生産用・業務用機械は、持ち直している。金属製品は、弱めの動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、上昇している。企業倒産は、件数は前年を上回っている。」と報告されています。富山県内の中小企業の景況は、一部に弱勢が見られるものの、総じて緩やかな回復傾向が続いていると見られています。

Ⅰ．企業業況

（小数点第2位を四捨五入）

企業業況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

種別＼期別	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良い	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	23.7	27.9	20.6	22.9	21.9	28.2	19.8	19.8	14.2	16.8
普通	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	54.8	53.9	54.2	59.9	59.6	59.4	59.9	59.4	70.6	69.7
悪い	25.1	23.9	19.7	28.0	22.8	21.5	18.2	25.2	17.2	18.5	12.4	20.3	20.8	15.2	13.5
Ｄ．Ｉ．	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	2.2	9.7	-4.6	5.7	3.4	15.8	-0.5	-1.0	-1.0	3.3



富山県内の中小企業の業況を全産業でみると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス1.0となり、前回比0.5ポイント悪化しました。2026年7月~9月は横ばいの見込ですが、10~12月には改善が予測されます。

Ⅰ．企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

（小数点第2位を四捨五入）

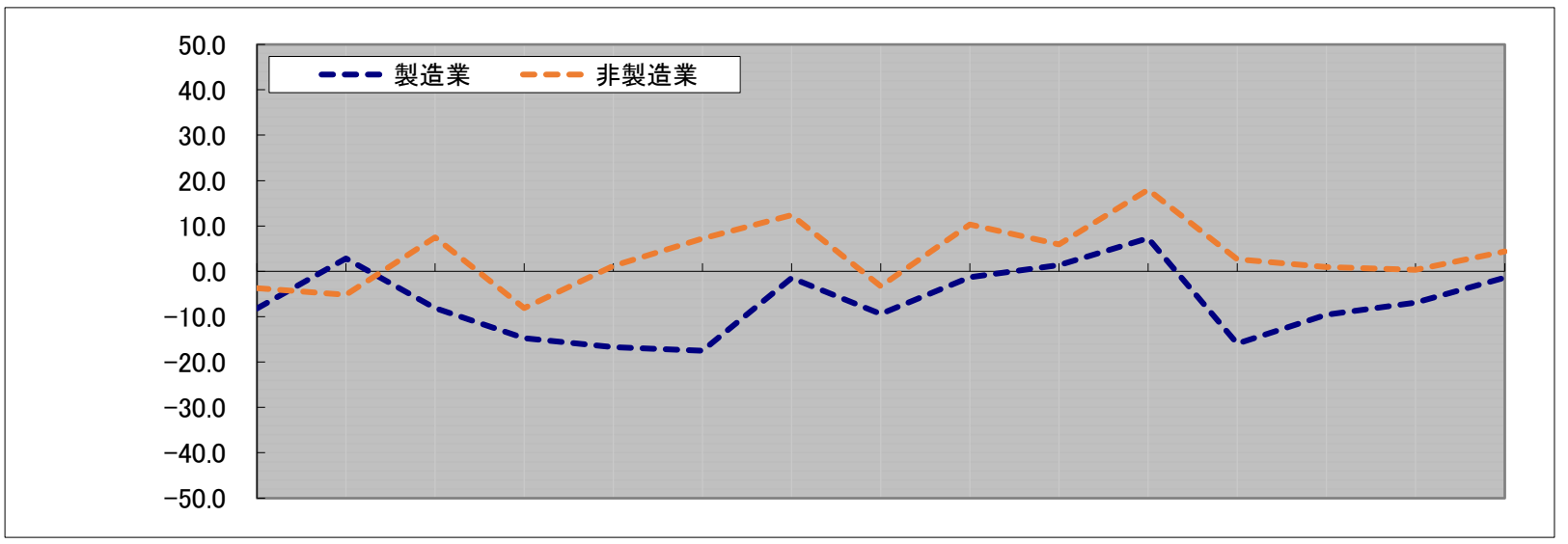
(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良い	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	21.7	28.8	25.0	20.7	23.4	31.7	17.4	21.9	12.3	17.8
普通	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	39.1	40.9	40.6	47.1	46.7	43.9	49.3	46.6	68.5	63.0
悪い	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	39.2	30.3	34.4	22.0	22.0	24.4	33.3	31.5	19.2	19.2
D．I．	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-17.5	-1.5	-9.4	-1.3	1.4	7.3	-15.9	-9.6	-6.9	-1.4

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良い	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	24.2	27.6	19.6	23.5	21.6	27.3	20.3	19.3	14.6	16.5
普通	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	58.8	57.2	57.5	63.3	62.7	63.4	62.1	62.3	71.1	71.4
悪い	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	17.0	15.2	22.9	13.2	15.7	9.3	17.6	18.4	14.3	12.1
D．I．	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	7.2	12.4	-3.3	10.3	5.9	18.0	2.7	0.9	0.3	4.4



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は、マイナス9.6となり、前回比6.3ポイントの改善となりました。製造業では2026年7月以降の業況D.I.もマイナス圏で推移する予想です。非製造業ではプラス0.9となり、前回比1.8ポイント悪化しました。非製造業では2026年7~9月は若干の悪化を予想していますが、10~12月は改善が予想されます。

Ⅱ．売上高状況

（小数点第2位を四捨五入）

売上高状況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

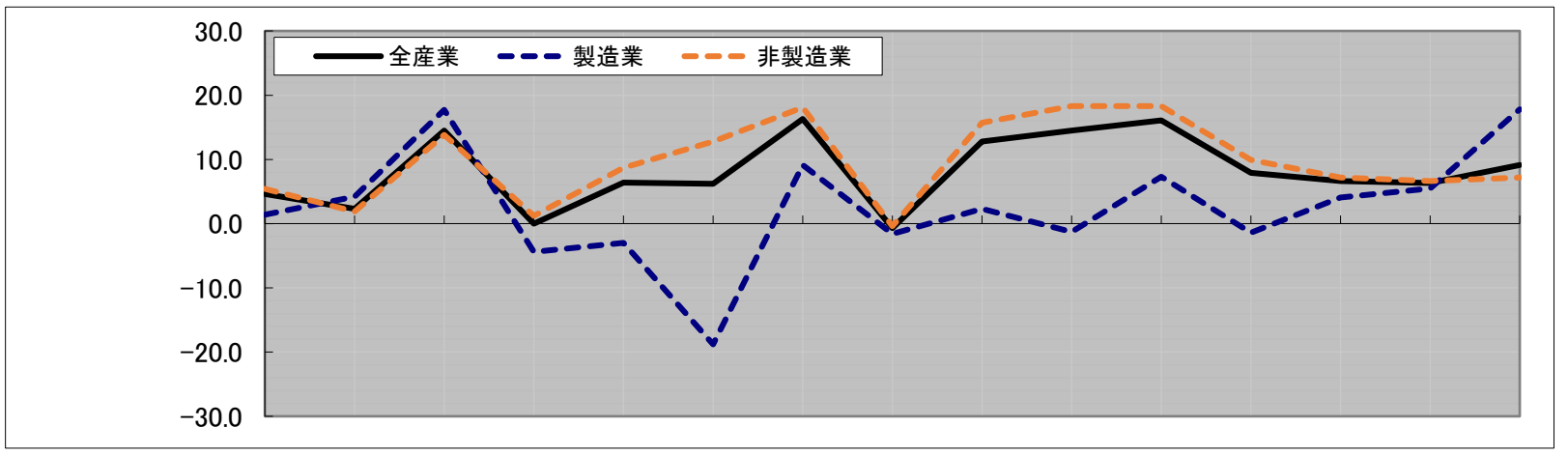
	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
増加	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	28.1	32.1	24.5	27.1	29.7	31.9	25.7	25.1	18.5	21.3
横ばい	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	50.0	52.1	50.3	58.6	55.1	52.3	56.5	56.4	69.3	66.5
減少	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	21.9	15.8	25.2	14.3	15.2	15.8	17.8	18.5	12.2	12.2
D．I．	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	6.2	16.3	-0.7	12.8	14.5	16.1	7.9	6.6	6.3	9.1

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
増加	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	20.3	28.8	23.4	26.4	26.0	32.9	23.2	32.9	19.2	31.5
横ばい	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	40.6	51.5	51.6	49.5	46.7	41.5	52.2	38.3	67.1	54.8
減少	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	39.1	19.7	25.0	24.1	27.3	25.6	24.6	28.8	13.7	13.7
D．I．	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-18.8	9.1	-1.6	2.3	-1.3	7.3	-1.4	4.1	5.5	17.8

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
増加	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	30.2	32.9	24.8	27.3	30.6	31.7	26.3	23.4	18.4	19.0
横ばい	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	52.4	52.3	50.0	61.1	57.1	54.9	57.3	60.4	69.8	69.2
減少	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	17.4	14.8	25.2	11.6	12.3	13.4	16.4	16.2	11.8	11.8
D．I．	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	12.8	18.1	-0.4	15.7	18.3	18.3	9.9	7.2	6.6	7.2



売上高D.I.は全産業ではプラス6.6となり、前回比1.3ポイント悪化しました。2026年7～9月は若干の悪化を予想していますが、10～12月は改善が予想されます。
製造業ではプラス4.1となり、前回比5.5ポイント改善しました。2026年7月以降も改善傾向となる予想です。
非製造業ではプラス7.2となり、前回比2.7ポイント悪化しました。2026年7～9月は若干の悪化を予想していますが、10～12月は改善が予想されます。

Ⅲ．製品在庫水準

（小数点第2位を四捨五入）

製品在庫水準の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

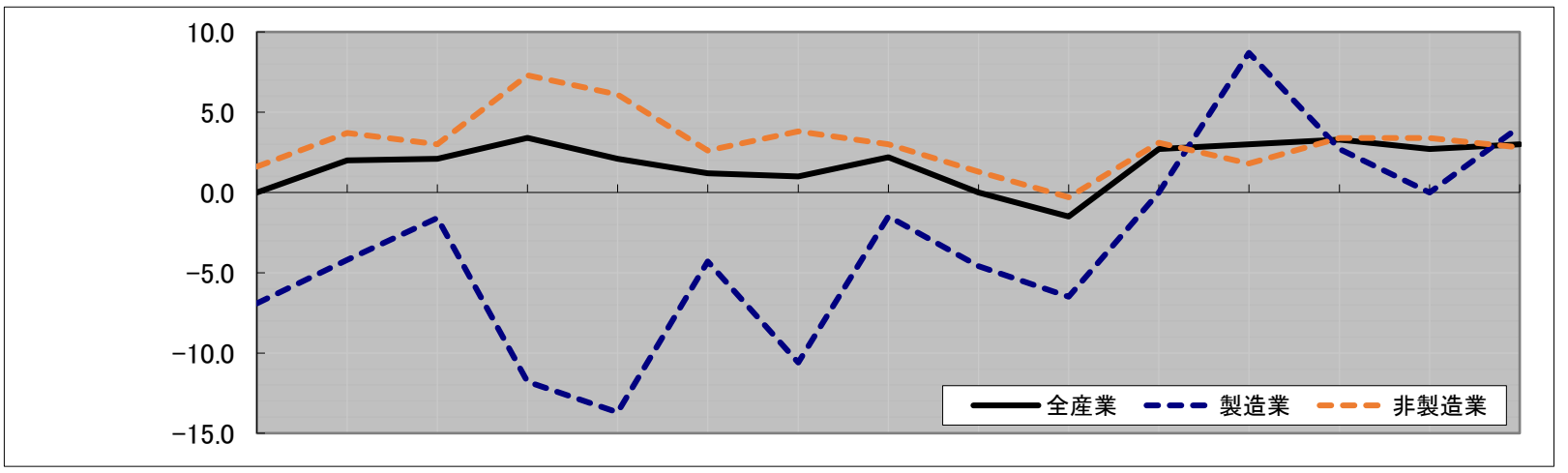
	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
不足	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	7.8	5.8	7.6	5.9	4.2	5.9	7.7	7.9	6.3	5.8
適正	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	85.6	89.4	87.0	88.2	90.1	90.9	87.6	87.5	90.1	91.4
過剰	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	6.6	4.8	5.4	5.9	5.7	3.2	4.7	4.6	3.6	2.8
D．I．	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	1.2	1.0	2.2	0.0	-1.5	2.7	3.0	3.3	2.7	3.0

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
不足	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	8.7	1.5	6.3	5.7	3.9	6.1	13.0	8.2	5.5	8.2
適正	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	78.3	86.4	85.9	84.0	85.7	87.8	82.7	86.3	89.0	87.7
過剰	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	13.0	12.1	7.8	10.3	10.4	6.1	4.3	5.5	5.5	4.1
D．I．	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-4.3	-10.6	-1.5	-4.6	-6.5	0.0	8.7	2.7	0.0	4.1

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
不足	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.5	6.8	7.9	6.0	4.3	5.6	6.6	7.8	6.5	5.3
適正	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	87.6	90.2	87.2	89.3	91.1	91.9	88.6	87.8	90.4	92.2
過剰	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	4.9	3.0	4.9	4.7	4.6	2.5	4.8	4.4	3.1	2.5
D．I．	1.6	3.7	3.0	7.3	6.1	2.6	3.8	3.0	1.3	-0.3	3.1	1.8	3.4	3.4	2.8



製品在庫水準D.I.はプラス3.3となり前回比0.3ポイント改善しました。2026年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。
製造業はプラス2.7と前回比6.0ポイント悪化しました。2026年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。
非製造業はプラス3.4と前回比1.6ポイント改善しました。2026年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。

Ⅳ．資金繰状況

（小数点第2位を四捨五入）

資金繰状況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

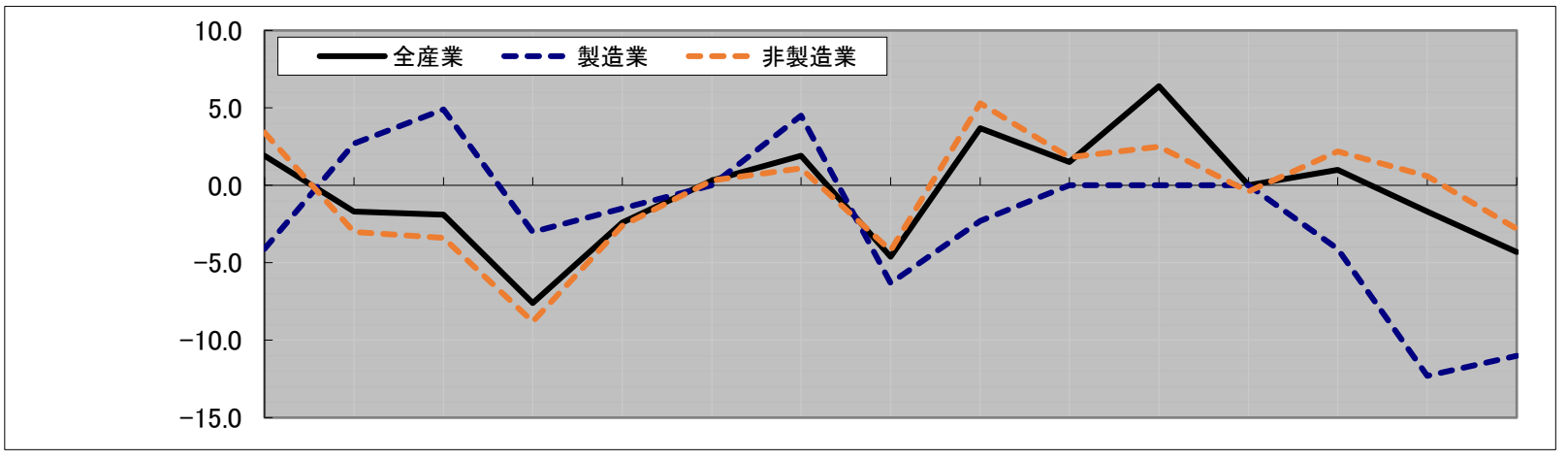
	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆ　る　い	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	12.3	15.5	13.0	16.3	15.7	18.3	14.4	12.9	11.2	10.2
普　　通	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	75.7	70.9	69.4	71.1	70.1	69.8	71.2	75.2	75.9	75.3
厳　し　い	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	12.0	13.6	17.6	12.6	14.2	11.9	14.4	11.9	12.9	14.5
Ｄ．Ｉ．	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	0.3	1.9	-4.6	3.7	1.5	6.4	0.0	1.0	-1.7	-4.3

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆ　る　い	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	10.1	13.6	10.9	13.8	14.3	16.3	13.0	12.3	8.2	8.2
普　　通	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	79.8	77.3	71.9	70.1	71.4	67.4	74.0	71.3	71.3	72.6
厳　し　い	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	10.1	9.1	17.2	16.1	14.3	16.3	13.0	16.4	20.5	19.2
Ｄ．Ｉ．	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	0.0	4.5	-6.3	-2.3	0.0	0.0	0.0	-4.1	-12.3	-11.0

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
ゆ　る　い	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	12.8	15.9	13.5	16.9	16.0	16.1	14.2	13.1	11.8	10.6
普　　通	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	74.7	69.3	68.8	71.5	69.8	70.3	71.2	76.0	77.0	76.0
厳　し　い	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	12.5	14.8	17.7	11.6	14.2	13.6	14.6	10.9	11.2	13.4
Ｄ．Ｉ．	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	0.3	1.1	-4.2	5.3	1.8	2.5	-0.4	2.2	0.6	-2.8



資金繰状況D.I.は全産業でプラス1.0と前回比1.0ポイント改善しました。2026年7月以降はマイナス圏内で推移する予想です。

製造業はマイナス4.1と前回比4.1ポイント悪化しました。2026年7月以降もマイナス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス2.2と前回比2.6ポイント改善しました。2026年7~9月はプラス圏内で推移する予想ですが、10~12月は悪化が予想されます。

Ⅴ．利益状況

（小数点第2位を四捨五入）

利益状況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

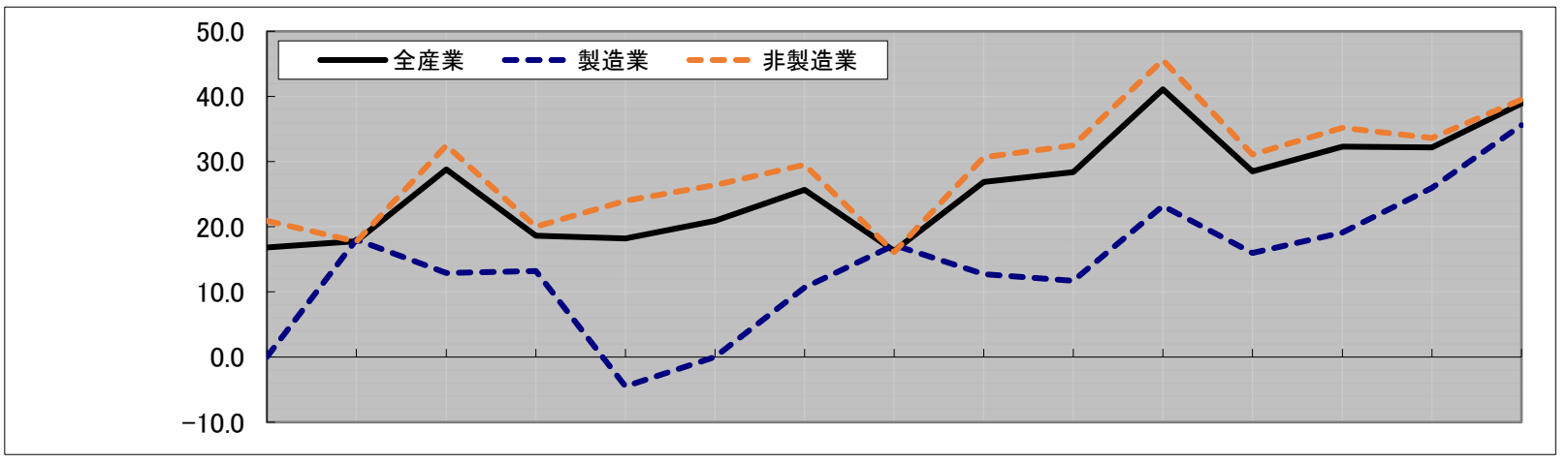
	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	42.8	45.1	41.5	46.1	46.9	53.7	46.8	48.0	43.1	47.0
収支トントン	36.8	39.7	33.6	35.6	38.0	35.3	35.5	33.3	34.7	34.6	33.7	34.9	36.3	46.0	44.9
償却後赤字	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	21.9	19.4	25.2	19.2	18.5	12.6	18.3	15.7	10.9	8.1
Ｄ．Ｉ．	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	20.9	25.7	16.3	26.9	28.4	41.1	28.5	32.3	32.2	38.9

利益状況の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	34.8	33.4	46.9	41.4	40.3	43.9	46.4	47.9	41.1	46.6
収支トントン	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	30.4	43.9	23.4	29.9	31.1	35.4	23.2	23.3	43.8	42.4
償却後赤字	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	34.8	22.7	29.7	28.7	28.6	20.7	30.4	28.8	15.1	11.0
Ｄ．Ｉ．	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	0.0	10.7	17.2	12.7	11.7	23.2	16.0	19.1	26.0	35.6

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
黒字	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	44.9	48.1	40.2	47.3	48.5	56.2	46.9	48.0	43.6	47.0
収支トントン	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	36.6	33.3	35.7	36.1	35.5	33.2	37.3	39.2	46.4	45.5
償却後赤字	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	18.5	18.6	24.1	16.6	16.0	10.6	15.8	12.8	10.0	7.5
Ｄ．Ｉ．	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	26.4	29.5	16.1	30.7	32.5	45.6	31.1	35.2	33.6	39.5



全産業の利益状況D.I.はプラス32.3と前回比3.8ポイント改善しました。
製造業はプラス19.1と前回比3.1ポイント改善しました。2026年7月以降も改善傾向で推移する予想です。
非製造業はプラス35.2と前回比4.1ポイント改善しました。2026年7月以降もプラス圏内で推移する予想です。

Ⅵ．設備投資動向

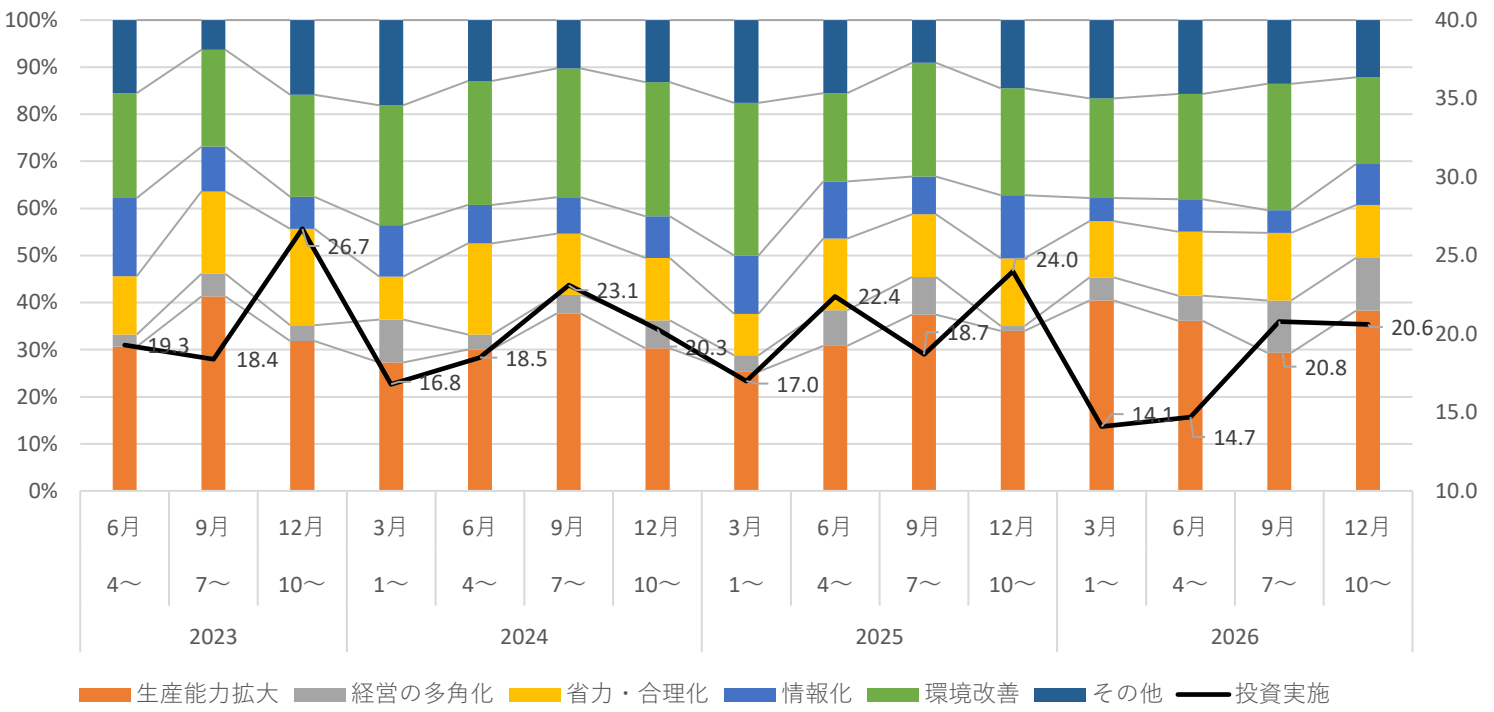
（小数点第2位を四捨五入）

設備投資の有無　(%)

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
													見込	予測	
投資実施	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.1	20.3	17.0	22.4	18.7	24.0	14.1	14.7	20.8	20.6
投資せず	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.9	79.7	83.0	77.6	81.3	76.0	85.9	85.3	79.2	79.4

設備投資の目的（実施先について）

	2023			2024				2025				2026			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
													見込	予測	
生産能力拡大	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.7	30.3	25.3	30.8	37.4	34.0	40.4	36.1	29.3	38.3
経営の多角化	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	3.9	5.9	3.5	7.6	8.0	1.0	4.9	5.4	11.1	11.2
省力・合理化	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	13.0	13.3	8.8	15.2	13.4	14.4	12.0	13.6	14.4	11.2
情報化	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	7.8	8.8	12.4	12.1	8.0	13.4	4.9	6.8	4.8	8.7
環境改善	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	27.3	28.5	32.4	18.8	24.1	22.7	21.2	22.4	26.9	18.4
その他	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	10.3	13.2	17.6	15.5	9.1	14.5	16.6	15.7	13.5	12.2



設備投資を実施した企業は14.7%となり、前回比0.6ポイント上昇しました。2026年7月以降の設備投資意欲は上昇傾向で推移していくものと予想しています。

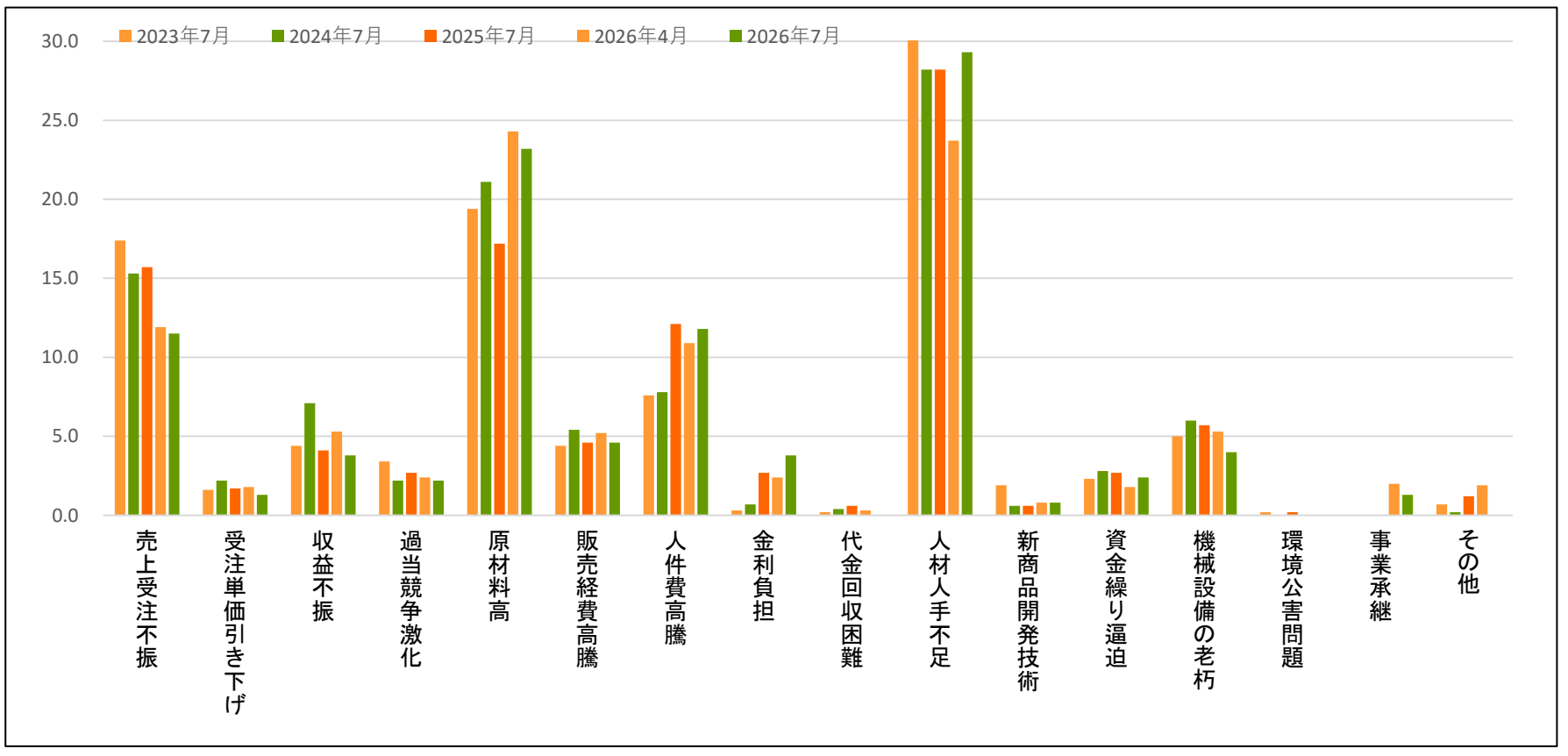
設備投資を実施した目的について、「生産能力拡大」は36.1%と前回比4.3ポイント下降しました。「環境改善」は22.4%と前回比1.2ポイント上昇しました。「省力・合理化」は13.6%と前回比1.6ポイント上昇しました。「情報化」は6.8%と前回比1.9ポイント上昇しました。「経営の多角化」は5.4%と前回比0.5ポイント上昇しました。引き続き、「生産能力拡大」を目的とした設備投資動向が続くと推察されます。

設備投資の多様性と積極的な生産拡大志向から、企業の経営基盤強化の動きがうかがえます。今後は環境対応や効率化とともに、生産力増強が設備投資の重点課題となる見通しです。

Ⅶ.当面の経営上の問題点

（%：複数回答あり）（小数点第2位を四捨五入）

	2023年7月（3年前同月）	2024年7月（2年前同月）	2025年7月（前年同月）	2026年4月（前回）	2026年7月（今回）	（うち製造業）	（うち非製造業）	前回比増減
売上受注不振	17.4	15.3	15.7	11.9	11.5	11.1	11.6	▲ 0.4
受注単価引き下げ	1.6	2.2	1.7	1.8	1.3	1.6	1.2	▲ 0.5
収益不振	4.4	7.1	4.1	5.3	3.8	7.1	3.0	▲ 1.5
過当競争激化	3.4	2.2	2.7	2.4	2.2	1.6	2.4	▲ 0.2
原材料高	19.4	21.1	17.2	24.3	23.2	26.0	22.5	▲ 1.1
販売経費高騰	4.4	5.4	4.6	5.2	4.6	3.9	4.8	▲ 0.6
人件費高騰	7.6	7.8	12.1	10.9	11.8	9.4	12.4	0.9
金利負担	0.3	0.7	2.7	2.4	3.8	3.1	4.0	1.4
代金回収困難	0.2	0.4	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	▲ 0.3
人材人手不足	31.2	28.2	28.2	23.7	29.3	22.8	30.9	5.6
新商品開発技術	1.9	0.6	0.6	0.8	0.8	1.6	0.6	0.0
資金繰り逼迫	2.3	2.8	2.7	1.8	2.4	1.6	2.6	0.6
機械設備の老朽	5.0	6.0	5.7	5.3	4.0	9.4	2.6	▲ 1.3
環境公害問題	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業承継				2.0	1.3	0.8	1.4	▲ 0.7
その他	0.7	0.2	1.2	1.9	0.0	-	-	▲ 1.9



当面の経営上の問題点として「人材人手不足」が最も多く29.3%となります。次いで高い項目は「原材料高」の23.2%、3番目に高い項目は「人件費高騰」の11.8%、4番目に高い項目は「売上受注不振」の11.5%となっています。経営上の問題点のトレンドは、前回と同様、中東情勢による影響が大きく反映された結果と想定されます。一方で、引き続き人材に関する課題は継続すると推察されます。
また、前回比増減が大きい項目として、「人材人手不足」が29.3%と前回比プラス5.6ポイントとなっています。課題の多様化から経営環境が依然厳しいことが推察されます。また、効率化や人材戦略の強化が喫緊の課題といえます。

コンサルティングサービス

富山第一銀行コンサルティングの特徴

- 100社以上のコンサルティング支援実績
- オーダーメイド型の伴走支援
- 地域やお取引先との幅広いネットワーク

コンサルティングサービス（伴走支援）

成長戦略策定支援サービス

- 中期経営計画・経営戦略策定
- 新事業展開・事業再構築戦略策定
- 経営理念・経営ビジョン策定
- 企業のあるべき姿・全社戦略・事業戦略策定
- マーケティング・ブランド戦略策定

経営改善支援サービス

- 売上拡大に向けた課題整理と改善策の策定
- 原価管理体制の構築、業務効率化支援
- 部門別・販売先別などの収益管理の見える化
- 工程別の課題抽出と生産管理体制の構築
- ミス・ロス低減に向けた改善策の検討

各種補助金申請のご支援

- 事業再構築補助金、ものづくり補助金など各種補助金の申請支援

BCP計画策定サポートのご支援

- 自然災害などの緊急事態に備えた事業継続計画の策定支援

DXコンサルティングのご支援

- 業務棚卸、フローの見える化による課題抽出と解決策の検討
- 勤怠管理、労務管理、在庫管理、販売管理、収益管理、営業管理などのDX化支援
- 入出金業務、給与計算、経費精算などの業務効率化サポート

人事評価制度・組織体制の強化・人材育成のご支援

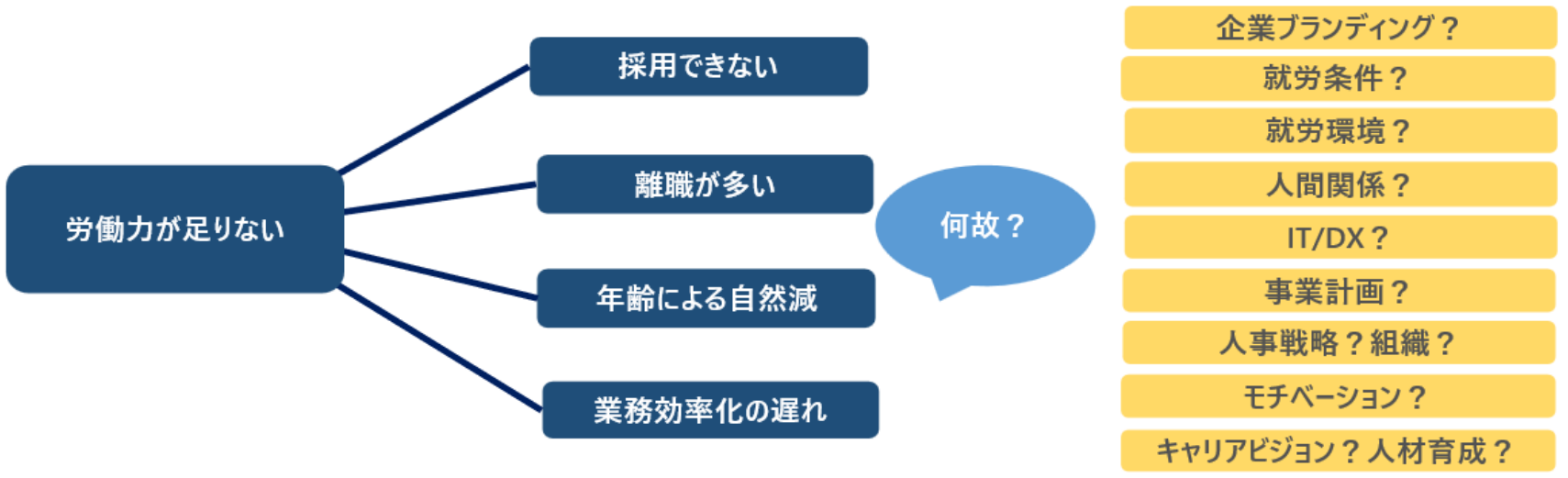
- 人事評価制度の導入・改定
- 賃金体系の策定
- 従業員満足度（ES）向上策の策定
- 従業員向けアンケート調査・個別面談の実施
- 社員向け経営計画発表会の開催
- プロジェクトチーム（PT）の運営サポート

このようなお困りごとございませんか

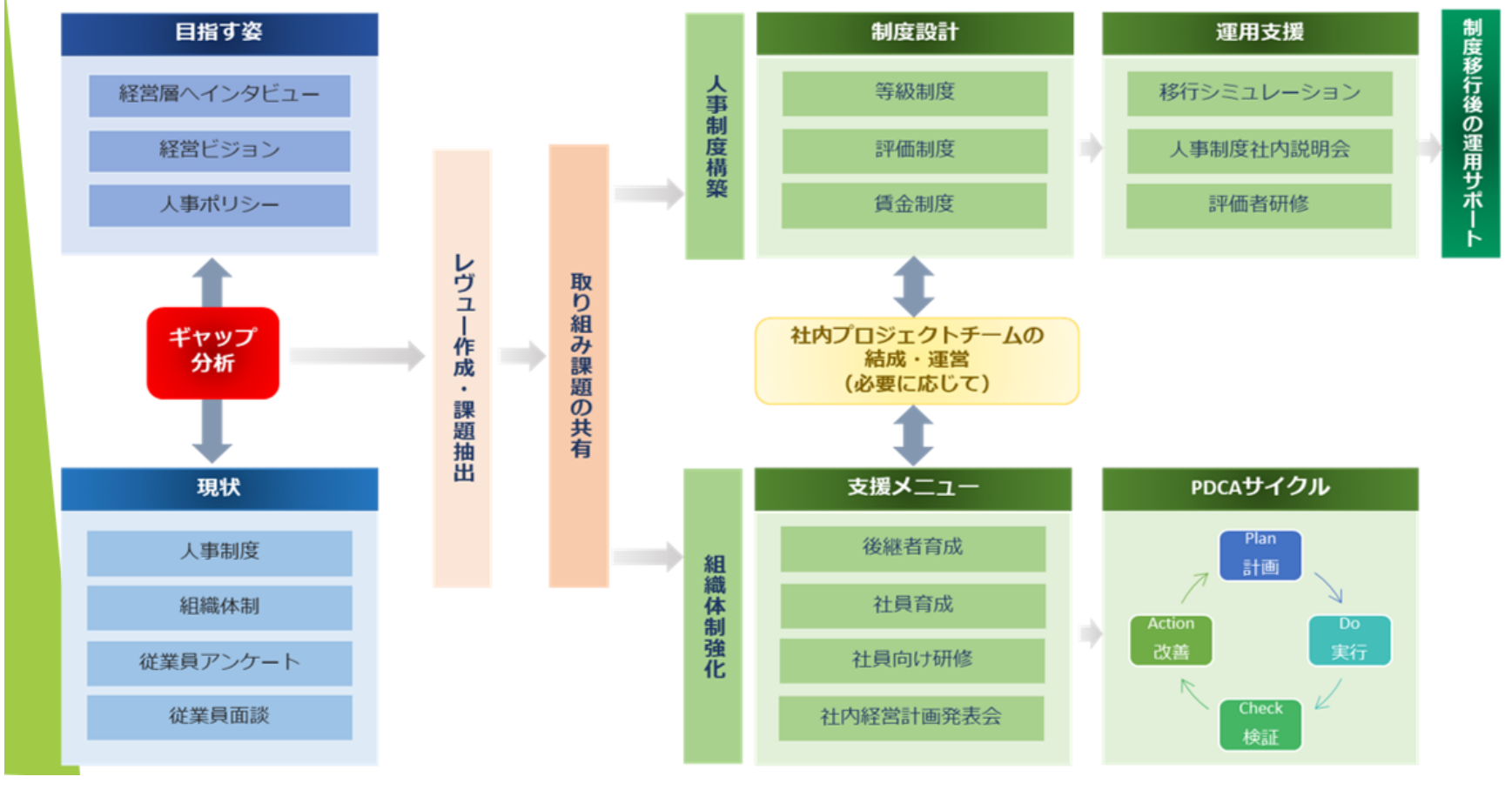
- 社員の採用が出来ない、採用した社員が定着しない
- 賃金テーブル、評価する基準がなく、社長の裁量で昇給をしている
- 人事制度はあるが、永年見直しをせずに運用を続けている
- 会社の求める人材、役割、スキルを明確にしたい
- 社員の働くモチベーションを高めたい
- 会社の経営方針を社員と共有出来ていない
- 後継者、幹部社員候補の育成が進んでいない

貴社の人事・組織に関するお困りごとの整理、解決に向けた支援に取り組みます

▶ 単に人材の課題においてもなぜ？を繰り返すことで見えてくる課題は様々です。



▶ 経営陣の皆様・社員の皆様との対話を大切に、課題解決に伴走いたします。



人材紹介

お客さまの経営課題を深く理解し、その解決のために必要な人材募集のお手伝いをさせていただきます。弊行並びに人材紹介を行なう弊行提携先企業の幅広いデータベースの中から最適な人材をご紹介し、貴社の事業拡大・課題解決等をサポートいたします。

人材採用の主な流れと弊行のサービス

経営課題整理 → 解決策の検討 → 人事要件の定義 → 人材サーチ → 候補者選定・マッチング → 入社 → 入社後フォロー

サービスパターン①

弊行が単独で行う場合

当行
経営課題の整理から候補者とのマッチングをサポートします

フォロー

サービスパターン②

提携先企業を活用する場合

当行 ⇔ 弊行提携人材紹介会社

経営課題の整理~人材要件の定義を行なった後、なるべく多くのデータベースから貴社にマッチした人材を探します

人材紹介事例

・社内のIT化を進めたいが、社内を取り仕切れる人材が欲しい。
・社内研修・社員育成プログラムを立ち上げたい。
・将来の役員を担う人材を探している。　など

デジタル人材 / 財務・経理・総務 / 後継者 / マーケティング・戦略 / ブランディング / 労働力確保・・・

事業承継、M&A

事業承継に悩む経営者様に寄り添い、承継に向けた課題抽出から課題解決、承継完了まで全面的にご支援させていただきます。数多くの取組実績を基にした実例から、各経営者様にとって最適な承継支援を実現いたします。

現状分析
・株式の評価額と所有者ごとの持株数の確認
・事業用資産の把握（所有名義の確認等）
・後継者の了解は取れているか　など

問題点の洗い出し
・株式の移行に伴う弊害、税金の負担
・後継者の教育期間やサポート体制
・会社の業績の増減によるタイミング　など

各種対策の検討
・分散株式の集約化
・非上場株式に係る相続税・贈与税の納税猶予の活用
・相続時清算課税制度の利用
・種類株式や持株会、信託などの活用
・社内の組織再編、役職の見直し　　など

対策の実行
・顧問税理士、弊行提携専門家と連携
・自社株式の評価対策　など

代表権や株式の移行
・親族内承継、従業員承継、M&A　など

社長の引退
・引退後の資産運用、円滑な相続を見据えたご支援

入り口から出口までのご支援をいたします

中小企業の
お悩みに効く！

富山第一銀行

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その想い富山第一銀行に聞かせてください。

富山第一銀行 https://www.first-bank.co.jp/business/